

グループ討議(ワークショップ)の進め方について

目的

- ・参加者が多様な意見を出し合い、論議することによりGMIに関する知識と理解を深める。
- ・グループ討議で出された意見等をまとめ、専門家(コメンテーター)との意見交換につなげる。

流れ

1. ファシリテーター及び補佐の紹介及び説明
2. 意見の記入及び付箋の貼り出し【5分程度】
 - ・グループごとのテーマについて、意見・質問等を具体的に付箋に記入
 - ・一枚の付箋には意見を1つだけ書く(複数の意見を書かない)
 - ・内容はわかりやすく簡潔に
 - ・のりの付いている方を上に、付箋の右下には名前を記入
 - ・枚数に決めはありません
 - ・模造紙の項目にあわせて、貼り出す(似た意見があれば、その近くに貼る)

テーマ

Aグループ、Bグループ

安全性について
・食品としての安全性
・技術としての安全性や生命的倫理
表示について
・表示制度
・意図せざる混入率

Cグループ、Dグループ

GMOの栽培について
・一般栽培、試験研究栽培
・自然界への影響
研究開発について
・バイオ産業振興
・将来に備えた技術開発

3. 意見・質問のまとめ
 - ・ファシリテーターの進行で、貼り出された付箋をもとにグループ論議を通じて似通った意見をまとめる
 - ・あとで気がついたこと、思いついたことは、その都度、付箋に書き込み補足・追加してもOK
4. 意見等の整理
 - ・グループで出された意見・質問として整理する
 - ・各グループで出された意見等をファシリテーターが集まって、全体としての意見等として整理し、次の専門家との意見交換につなげる